

平成 29 年度遠野市遠野東工業団地整備事業特別会計予算の要領

1 概要

東北横断自動車道釜石秋田線遠野インターチェンジが平成 27 年 12 月に開通し、平成 30 年度には釜石まで全線開通の予定となっている。本市を取り巻く高速道路網の整備によるストック効果により、本市への企業進出の意欲が高まってきている。第 2 次遠野市総合計画では、遠野東工業団地周辺を工業団地エリアと位置づけていることから、ものづくり産業振興の拠点として拡張整備を行い、企業進出に備えるとともに、雇用の場の確保につなげる。

遠野東工業団地の拡張整備にあたり、30.4 ヘクタールの工場敷地の造成を実施するため、その業務を岩手県土地開発公社（以下、「公社」）へ委託する予定である。公社に委託しようとする土地の取得、造成その他の業務については、公有地の拡大の推進に関する法律及び地方財政法の規定により、その経理について特別会計を設けて行う必要があることから、新たに「遠野東工業団地整備事業特別会計」を設置した。

なお、公社への業務委託期間は平成 29 年度から平成 32 年度までとし、概算事業費は 4 ヶ年で 2,838,000 千円を見込み、各年度の業務量に合わせて予算を計上する。

2 平成 29 年度当初予算編成の状況

- (1) 平成 29 年度の事業費として、45,250 千円を計上する。
- (2) 歳入では、一般会計繰入金 11,350 千円、市債 33,900 千円を見込む。
- (3) 歳出では、地形測量地質調査業務、実施設計業務、用地測量調査業務、不動産鑑定業務等の委託料として、事業費 45,250 千円を見込む。
- (4) 公社へ委託を予定している用地取得、用地造成等業務について、平成 29 年度から平成 32 年度まで、2,838,000 千円を限度額とする債務負担行為を設定する。
- (5) 地方債は、岩手県自治振興基金を活用し、借入額は委託料に対して 75%を見込む（100 千円未満切捨て）。

◎歳入

項目	金額（千円）
一般会計繰入金	11,350
市債	33,900
合 計	45,250

◎歳出

項目	金額（千円）
事業費	45,250
合 計	45,250